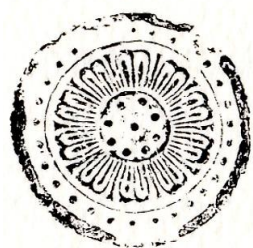


大分市歴史資料館年報

(平成 25 年度)



2014

目 次

展 示	1
テーマ展示 特別展 その他展示 まちかど歴史展示館	
資料収集	10
教育普及活動	15
歴史資料館利用状況	20
管理及び運営	21
歴史資料館協議会 組織機構・事務分掌・職員・歳入歳出 施設管理業務の内容	
施設の概要	22
利用案内	23

展 示

(1) テーマ展示

第1回 「古文書にみる大友の家臣たち」

会期 4月20日(土)～6月30日(日)

開館日数：62日 入館者数：3,248人

大友氏が九州の戦国大名の雄として勢力を広げた背景には、歴代当主に仕えた数多くの家臣たちの存在があった。“三老”と呼ばれた戸次鑑連(道雪)、臼杵鑑速、吉弘鑑理の宗麟の重臣たちをはじめ、右筆や奉行、城督など様々な役割を担った家臣たちが大友氏の治世を支えました。

本展では、そうした大友氏の家臣たちの様相を、当館が所蔵する古文書から紹介した。

主な展示構成・展示品

[大友氏の宿老 臼杵氏] 大友義鎮書感状／大友氏加判衆連署奉書／府内古図 (C類)

[筑前国立花城城督 戸次道雪] 大友義統感状／戸次道雪画像(複製) 原品：柳川市福厳寺蔵／田原親賢家臣奉行人連署坪付打渡状

[府内衆 中村氏] 大友吉統安堵状

[大友水軍 狭間田氏] 豊前今井元長船合戦図／大友円斎書状／阿紀表御警固日記之事

[キリシタンとなった吉水氏] 転并類族之書出

[天正期の大友軍] 豊臣秀吉朱印状

[大友宗麟の右筆] 豊後国万寿寺宛文書など



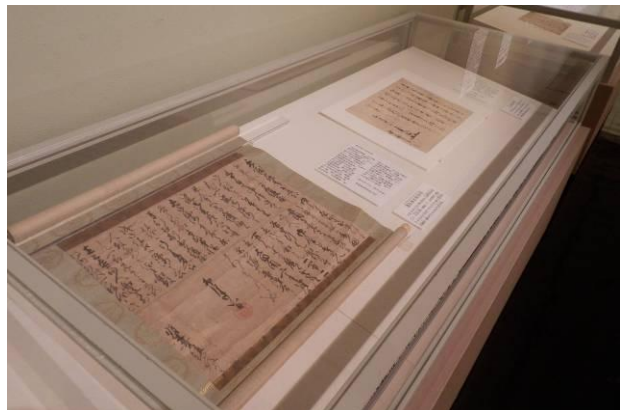
テーマ展示室入口



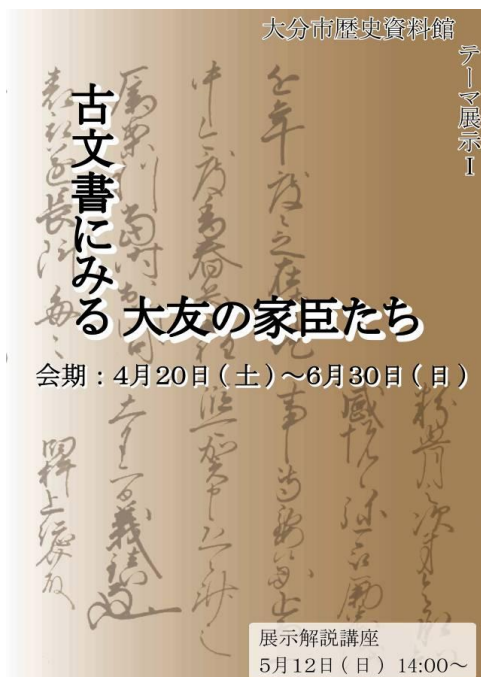
展示風景「大友氏の宿老 臼杵氏」ほか



展示風景「大友水軍 狭間田氏」



展示風景「天正期の大友軍」



第2回 「江戸の愛好家」

会期 7月13日(土)～10月6日(日)

開館日数：74日 入館者数：4,451人

江戸時代の250年は、世界史上類例を見ない平和な時代であった。この間、農・工業の技術をはじめ、学問や文化などの分野において、これまで以上の進展が見られた。そうした技術や学問等の進展の背景には、この時代に生きた愛好家ともいうべき先人たちの旺盛な好奇心や探究心がありました。

本展では、江戸時代の各分野の発展に寄与した愛好家たちの功績やこだわりを紹介した。

主な展示構成・展示品

[杉田玄白]『解体新書』

[古川古松軒]『西遊雑記』・『東遊雑記』

[平瀬鉄斎]『日本山海名物図絵』

[木村孔恭]『日本山海名産図絵』

[大蔵永常]『広益国産考』

[賀来飛霞] 植物写生図

[後藤碩田]『大化帖試摺』

[江戸時代こだわりの一品]

御城下絵図・着火式根付・葡萄図罽・桜楓山水図
蒔絵印籠・鮫皮貼蒔絵螺鈿洋櫃



展示風景「杉田玄白」ほか



展示風景「賀来飛霞」



展示風景「後藤碩田」



展示風景「江戸時代のこだわりの一品」

大分市歴史資料館 テーマ展示Ⅱ

江戸の愛好家

7月13日(土)
～10月6日(日)

「愛好家」...「オタワ」と呼んでもいいですか?

解説講座
8月18日(日)
14:00～
無料

後藤碩田「大化帳(試刷)」

「図でわかる」江戸の歴史

「図でわかる」江戸の歴史

「図でわかる」江戸の歴史

第3回 「大分の土器 48 選」

会期 12月21日(土)～3月30日(日)

開館日数：78日 入館者数：2,913人

歴史資料館の展示品の中で最も多いのは、遺跡の発掘調査によって出土した「土器」である。土器は粘土で形を作り、これを焼いたもので、およそ1万5千年前に誕生したと言われている。日本の土器は、世界で発見されているものの中で最も古い歴史をもっており、長い時の中で人々の生活とともに変化してきた。土器の形や文様は、それぞれの時代や地域の特徴をよく表しており、土器を研究することで、当時の人々の暮らしぶりや地域間の交流などがみえてくる。

本展では、大分で出土した特徴的な48の土器を選び、歴史的背景や土器自体が持つ美や芸術性を紹介した。

主な展示構成・展示品

- [I 縄文の器] 押型文土器・磨消縄文土器
- [II 弥生の器] 下城式土器・器台・安国寺式土器
- [III 古墳の器] 布留式土器・舟形土器・須恵器壺
- [IV 古代の器] 畿内産土師器・奈良三彩・緑釉
- [V 中世の器] 和泉型瓦器碗・白色研磨土師器
- [VI 祭祀の器] 墓に使われた土器・穴のあいた土器・赤く塗られた土器・地鎮に使われた土器など



展示室入口・展示風景「I 縄文の器」



展示風景「II 弥生の器」



展示風景「IV 古代の器」



展示風景「VI 祭祀の器」



(2) 特別展

第32回特別展 南蛮屏風の世界ー描かれた都市の賑わいー

大友宗麟が活躍した時代、豊後府内のまちは、堺・博多とならぶ日本を代表する国際貿易都市であり、長崎と同じようにポルトガル船が寄港した港湾都市でもあった。

こうした戦国時代の貿易都市の様子を伝えてくれるものの一つが「南蛮屏風」である。南蛮屏風には、ポルトガル商人や宣教師をはじめ、いろいろな人々が行きかう様子や、異国から持ち込まれたさまざまな文物、異国情緒のあふれる町の様子などが描かれている。

本特別展では、南蛮屏風に描かれている「人」「物」「町」の様子を、南蛮・キリシタン関係資料や各地の遺跡からの出土品などで紹介し、16世紀中頃から17世紀前半にかけての、西洋と日本との文化交流の様子を南蛮屏風から探っていただくとともに、当時の豊後府内のまちな姿に思いを馳せていただいた。

なお、会期中の11月17日(日)に、早稲田大学文学学術院准教授の成澤勝嗣氏をお招きし、「南蛮屏風に描かれた都市の賑わい」の演題にて記念講演会を開催した。

会場：第2展示室・テーマ展示室

開館日数：28日 入館者数：7,034人

出品点数：〇〇点

記念講演会

日時：11月17日(日) 午後2時～4時

会場：資料館講座室 聴講者数：〇〇人



記念講演会の様子



記念講演会の様子



記念講演会の様子

展示構成及び展示品リスト

展示構成	番号	資料	数量	所蔵者
はじめに				
「南蛮屏風」	1	南蛮人来朝之図屏風 (国認定重要美術品／県指定文化財)	1	長崎歴史文化博物館
	2	南蛮屏風 (模写)	1	当館 (原本:神戸市立博物館)
	3	南蛮人遊楽図屏風 〈前期展示〉	1	太平洋セメント株式会社/津久見市寄託
I. 南蛮の姿				
南蛮船	4	ナウ型帆船模型	1	臼杵市
	5	南蛮船文鐔	1	津久見市
	6	南蛮船図鐔	2	当館
南蛮人	7	西洋人物座像水滴[堺環濠都市遺跡]	1	堺市
	8	西洋人物像水滴[大坂城下町跡]	1	大阪市教育委員会 (公財)大阪市博物館協会 大阪文化財研究
	9	南蛮人図鏡	1	当館
	10	南蛮人蒔絵印籠	1	長崎歴史文化博物館
	11	蒔絵南蛮人図印籠	1	大村市教育委員会/大村市立史料館
	12	象嵌南蛮人文鏡	1	津久見市
トピック① 「駒子の紙人形」				
	13	「駒子の紙人形」	1式	木津川市立中央図書館
II. 南蛮の意匠				
	14	南蛮帽 伝 山内一豊 所用	1	(公財)土佐山内家宝物資料館
	15	太閤秀吉公之御羽織	1	個人
	16	十字架[磨屋町遺跡]	1	長崎市
	17	十字架[原城跡]	3	南島原市教育委員会
	18	メダイ[万才町遺跡]	1	長崎市
	19	メダイ[原城跡]	2	南島原市教育委員会
	20	府内型メダイ[中世大友府内町跡]	4	大分県教育庁埋蔵文化財センター
	21	府内型メダイ[大友館跡]	1	大分市教育委員会
	22	ロザリオの珠[原城跡]	4	南島原市教育委員会
	23	ロザリオ	1	国東市
	24	ロザリオ	1	個人
	25	聖骨箱[築町遺跡]	1	長崎市
	26	指輪[築町遺跡]	1	長崎市
	27	指輪[原城跡]	1	南島原市教育委員会
	28	ボタン状ガラス製品[中世大友府内町跡]	2	大分市教育委員会
	29	ベネチアングラス[大坂城下町跡]	1	大阪市教育委員会 (公財)大阪市博物館協会 大阪文化財研究
	30	ガラス製坏[中世大友府内町跡]	1	大分県教育庁埋蔵文化財センター
	31	十字架鋳型瓦[臼杵城跡]	1	臼杵市教育委員会
	32	「INRI」銘入石造物	1	臼杵市教育委員会
特別企画「里帰り展示」 丹生出土のキリシタン遺物 (長崎県指定文化財)				
	33	備前焼壺	1	日本二十六聖人記念館
	34	ロザリオの珠ほか	20	日本二十六聖人記念館
	35	小さい十字架 箱付き	3	日本二十六聖人記念館
	36	メダイ 福者イグナチオと福者ザビエル	1	日本二十六聖人記念館
	37	メダイ IHSと無原罪の聖母	1	日本二十六聖人記念館
	38	メダイ 御聖体・文章	2	日本二十六聖人記念館
	39	聖遺箱のガラス	1	日本二十六聖人記念館
	40	聖遺物箱	1	日本二十六聖人記念館
トピック② 南蛮船に描かれた大砲				
	41	「国崩し」大砲 (複製品)	1	当館 (原本:靖国神社)
	42	「国崩し」大砲 子砲 (復元品)	1	玉名市立歴史博物館ころもピア
	43	石火矢 (砲弾) [原城跡]	2	南島原市教育委員会
	44	ランタカ砲	1	当館
	45	大友宗麟書状 (複製品)	1	津久見市 (原本:南蛮文化館)
	46	国崩石火矢集 (複製品)	1	津久見市 (原本:南蛮文化館)

Ⅲ. 南蛮都市の景観－教会－			
	47	花十字紋瓦[万才町遺跡・勝山町遺跡]	4 長崎市
	48	都の南蛮寺（複製品）	1 当館（原本：神戸市立博物館）
	49	スータン（宣教師修道服）	1 国東市
	50	司祭祭服〈後期展示〉	1 国東市
	51	助祭祭服〈後期展示〉	1 国東市
	52	祭器 パテナ・カリス（ミサ用皿・杯）	2 国東市
	53	祭器 燭台	2 国東市
	54	祭器 ピクシス（聖体器）	1 国東市
	55	祭器 ミサ用葡萄酒・水入れ	2 国東市
	56	祭器 ミサ用鍍金皿	1 国東市
	57	南蛮漆器枝垂れ桜蒔絵螺鈿聖龕	1 大村市教育委員会/大村市立史料館
	58	花樹鳥文蒔絵螺鈿洋箆	1 当館
	59	花鳥文蒔絵螺鈿洋櫃〈後期展示〉	1 当館
	60	蒔絵南蛮唐草交椅	1 津久見市
Ⅳ. 南蛮都市の景観－町と交易－			
都市と景観	61	博多古図（複製品）	1 津久見市（原本：福岡 住吉神社）
	62	「堺市図」モンタヌス『日本誌』挿絵	1 個人
	63	府内古絵図	1 当館
コンテナとしての 陶磁器	64	タイ メナムノイ窯四耳壺[堺環濠都市遺跡]	1 堺市
	65	硫黄壺[堺環濠都市遺跡]	1 堺市
	66	ベトナム焼締陶長胴瓶[堺環濠都市遺跡]	1 堺市
	67	オリーブ油壺[大坂城下町跡]	1 大阪市教育委員会 (公財)大阪市博物館協会 大阪文化財研究
伝ポルトガル渡り	68	青磁円環耳付大花瓶	1 柞原八幡宮
商品としての 陶磁器	69	南蛮人交易図	1 長崎歴史文化博物館
	70	漳州窯系青花芙蓉手孔雀文盤[堺環濠都市遺跡]	1 堺市
	71	五彩花鳥文鉢[堺環濠都市遺跡]	1 堺市
	72	ベトナム染付皿[堺環濠都市遺跡]	1 堺市
	73	ミャンマー白釉盤[堺環濠都市遺跡]	1 堺市
	74	景德鎮窯系青花牡丹唐草文 蓋付小壺[堺環濠都市遺跡]	1 堺市
	75	漳州窯系五彩牡丹文小壺[堺環濠都市遺跡]	1 堺市
	76	漳州窯系青花麒麟文角香合[堺環濠都市遺跡]	1 堺市
	77	タイ鉄絵蓮束文合子[堺環濠都市遺跡]	3 堺市
	78	タイ鉄絵合子蓋[中世大友府内町跡]	1 大分県教育庁埋蔵文化財センター
	79	タイ鉄絵合子	1 当館
	80	景德鎮窯系青花竹文聞香炉[堺環濠都市遺跡]	1 堺市
	81	龍泉窯系青磁香炉[中世大友府内町跡]	2 大分県教育庁埋蔵文化財センター
	82	青磁象形置物[中世大友府内町跡]	1 大分県教育庁埋蔵文化財センター
	83	白磁玉取り獅子置物[中世大友府内町跡]	2 大分県教育庁埋蔵文化財センター
	84	景德鎮窯系青花水注[中世大友府内町跡]	1 大分県教育庁埋蔵文化財センター
	85	瑠璃釉水注[原城跡]	1 南島原市教育委員会
	86	タイ鉄絵ケンディー	1 個人
注文された 陶磁器	87	木葉形白磁皿「天文年造」銘[堺環濠都市遺跡]	1 堺市
	88	木瓜形白磁皿「天文年造」銘[尼ヶ城跡]	1 当館
	89	染付天下一銘龍文皿	1 南島原市教育委員会
担がれた壺	90	華南三彩貼花文五耳壺	1 当館
	91	華南三彩刻花文五耳壺	1 当館
一番の輸出品	92	慶長丁銀[大坂城跡]	1 大阪市教育委員会 (公財)大阪市博物館協会 大阪文化財研究
	93	御取納丁銀模造品	1 個人
トピック③ 描かれた交易品と動物パネル展示			



特別展会場入口



「プロローグ 南蛮屏風」



「Ⅰ. 南蛮の姿 南蛮船」



「Ⅰ. 南蛮の姿 南蛮人」



「トピック① 駒子の紙人形」



「Ⅱ. 南蛮の意匠」のコーナー入口



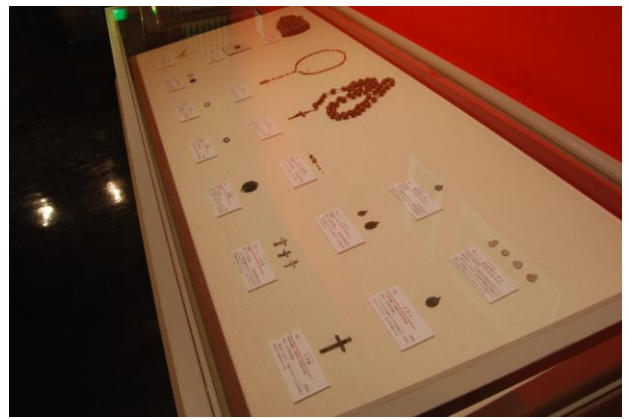
「特別企画 里帰り企画」



「特別企画 里帰り企画」ほか



「Ⅱ. 南蛮の意匠 南蛮帽」ほか



「Ⅱ. 南蛮の意匠 ロザリオ」ほか



「トピック② 南蛮船に描かれた大砲」



「Ⅲ. 南蛮都市の景観 教会」



「Ⅲ. 南蛮都市の景観 教会」〈前期展示〉



「Ⅲ. 南蛮都市の景観 教会」〈後期展示〉



「Ⅳ. 南蛮都市の景観 町と交易」

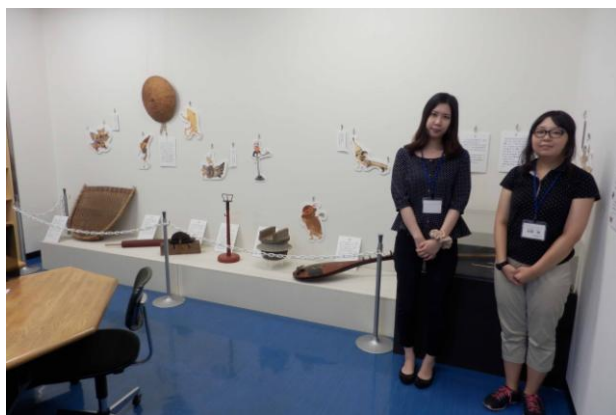


「Ⅳ. 南蛮都市の景観 町と交易」

（３）その他の展示

博物館実習

●博物館実習の一環で、本年度受入れを行った２名の博物館実習生によるミニ展示を企画・実施した。館蔵資料を活用するという観点から、日頃展示する機会の少ない民俗関係資料を利用した展示を行った。単に資料を展示するのではなく、より興味を持たせるために、「百鬼夜行絵巻」に描かれた道具の妖怪をパネルにし、その妖怪が実際はどのような道具であったかを紹介した。学習コーナーの一角を利用した展示であったが、コンパクトにまとまった展示となった。



展示風景と博物館実習生

大分市民図書館 「郷土史コーナー」

●平成 25 年 7 月 20 日にオープンした複合文化施設「ホルトホール大分」内に置かれた大分市民図書館の郷土史コーナーにおいて展示を行った。

郷土史コーナーに設置された２つの展示ケースを使用し、１つには大友宗麟公を広く知ってもらうために作成した『府内から世界へ大友宗麟』小学 6 年生の郷土学習資料（副読本）を紹介し、



大分市民図書館「郷土史コーナー」展示風景

中世大友府内町跡からの出土品を展示している。もう 1 つのケースは、大分市歴史資料館のインフォメーションとして、開催中の企画展の情報をパネル展示している。

ホルトホール大分のオープン以降、計 3 回の展示替えを行い、広く市民の方に郷土大分の歴史や大友氏の歴史にふれる場を提供した。

（４）まちかど歴史展示館

●本年から多くの市民に郷土の歴史や文化を紹介するために、市民学芸員や地域住民と協働して、資料館を出てパネルや資料などの展示を行う「まちかど歴史展示館」を実施した。

平成 25 年 7 月から平成 26 年 2 月の期間、ホルトホール大分をかわきりに、佐賀関市民センター、鶴崎市民行政センター、大南市民センター、坂の市公民館、大在公民館、植田市民行政センター、明治明野公民館、野津原市民センターの 9 施設について順次展示を行った。

期間中、19,489 人の利用があった。



ホルトホール大分での展示風景



大南市民センターでの展示風景

資料収集

資料収集委員会

1. 会議

開催日 平成 26 年 3 月 6 日 (木)

場 所 歴史資料館会議室

議 題 ①委嘱状の交付

②会長、副会長の選出

③平成 25 年度購入入予定資料の説明

④購入予定資料の熟覧

⑤購入予定資料の審議

2. 委員会名簿

氏 名	役 職	専 門
豊田 寛三	別府大学長	日本近世史
段上 達雄	別府大学文学部教授	日本民俗学
菊竹 淳一	九州大学名誉教授	日本美術史
鳥井裕美子	大分大学教育福祉科学部教授	日欧交渉史
下村 智	別府大学文学部教授	日本考古学

寄 贈 資 料

(1) 日の丸寄せ書き 1 枚／昭和 6 年乃至 9 年
 事変従軍記章 1 点／支那事変従軍記章 1 点
 ／(明治 21 年赤十字社記念章) 1 点／通常会
 員章 1 点／勳七等青色桐葉章 1 点

園田公子 氏

(2) 支那事変出勤記念写真帖 1 冊／写真帖 1
 冊

竹中正一 氏

(3) 写真アルバム 2 冊／福岡県宮田町尋常高
 等小学校記念写真ほか 3 枚

藤野 寛 氏

(4) 思い出の記 「忘れな草」 1 冊

津田ゆかり 氏

(5) 『大分連隊写真集』 1 冊／『郷土部隊奮
 戦史』 1 冊／『比島戦線体験記』 第 11 集 1
 冊／『足跡を辿りて—ルソン島戦跡巡拝の記』
 1 冊／『東海の暁雲—教務部疎開団・満州引き
 揚げの記』 1 冊／『野砲 13/17 連隊戦記』 1
 冊／＜「パナイ島戦没者之碑」前で読んだ供養
 文＞ 1 紙／『討匪抄—比律賓パナイ島吉岡隊
 戦闘手記』 1 冊／『鬼哭—B・C 級戦犯裁判の
 記録』 1 冊／『大東亜戦争殉難遺詠集』 1

冊／『戦野の詩—証言・比島作戦の綴り』 1
 冊／『新樹—巢鴨ブリズン短歌集』 1 冊／『ル
 ソン島の戦記』 1 冊／『試煉のアルバム—ス
 ガモ戦犯拘置所』 1 冊／『春を想へば』 1
 冊／＜「スガモ新聞」＞120 号～166 号 1 冊／
 ＜「スガモ新聞」＞116 号～167 号 1 冊／『83
 戦争展』 1 冊 甲斐節子 氏

購 入 資 料

(1) 職人絵尽し (摸本)

1 帖

縦 27.1×横 38.45cm

中世後期の 142 職種の職人を題材とした『七十
 一番職人歌合』から、職人の姿絵だけを模写し、
 折帖にしたもの。全部で 95 種の職人の姿絵が収
 められており、その図像等から、狩野養信・雅信
 父子が弘化 3 年 (1847) に写した東京国立博物館
 所蔵の『七十一番職人歌合絵巻模本』、またはそ
 れに近い写本から転写されたものとみられる。

本書には、上記の東京国立博物館所蔵本 (上巻
 1～23 番、中巻 24～46 番、下巻 47～71 番) の中
 巻部分を除く、上巻・下巻に当たる職人絵が収め
 られており、このうち 16 番の弦売^{つるうり}の絵が欠ける
 もの、その他の職人は全て調い、図像も東京国
 立博物館所蔵本とほぼ同様である。

大友館で行われた年中行事の内容を大友義統
 がまとめた「當家年中作法日記」によると、塗師
 御作・桶結御作・工御御作・土器作といった大友
 氏直属の職人がおり、また大友氏遺跡から出土す
 る土器・曲物・漆器・下駄・漆喰・秤などの遺物
 からも当時関連する職人の存在がうかがえ、本書
 はこうした様々な職人の姿やその製品・道具を知
 る上で貴重な資料である。

なお、本資料に収められた職人を列举すると、
 白拍子・曲舞・田楽・猿楽・禰宜・巫女・山伏・
 持者・楽人・舞人・番匠・鍛冶・包丁師・調菜・
 油売・餅売・白布売・直垂売・研・塗士・山人・
 浦人・檜物師・壁塗・檜皮葺・車作・傘張・足駄
 作・金掘・汞掘・放下・鉢たたき・薫物売・菓売・

褄目くり・行膝造・鎧細工・轆轤師・草履作・硫黄箒売・弓作・翠簾屋・唐紙師・畳紙売・摺師・挽入売・土器作・鍋売・酒作・念仏宗・法花宗・華嚴宗・俱舎宗・筆結・筵打・縫物師・組師・紙漉・酢造・心太売・饅頭売・法論味噌売・矢細工・箆細工・競馬組・相撲取・連歌師・山法師・奈良法師・帯売・白布売・早歌うたい・賽摺・蛤売・魚売・烏帽子折・扇売・木樵・草かり・炭焼・小原女・馬買・皮買・苧売・綿売・禅宗・律家・文者・弓取・葛籠造・皮籠造・比丘尼・尼僧・紺搔・機織の95人である。

(2) 豊後国大友時代末期府内絵図 1 鋪
縦 114×横 110cm

戦国時代の豊後府内のまちを描いた絵図。同様の絵図は、大きくA類、B類、C類の三系統に分けられるといわれる。A類は、大友氏の館が「大友館」と表記され、その東二ヶ所に大・小の門を描き、B類は館を「大友御屋敷（舗）」と表記し、その東にA類と同じく大・小の門を構えが、A類にない「称名寺」などの寺の名前が記される。C類は、館を「大友御屋敷」、または「大友役所」と表記し、その四方には一つずつ門が構えられ、館の南方には「蔵場」が表示され、堀切峠や島津勝久の墓など、A類・B類にない表記が数多くみられるという特徴をもつ。この分類によれば、蔵場が描かれている本図は、C類に位置づけられる絵図の一つとみられる。

府内藩の儒者阿部淡斎(1813－1880)は著書『雉城雑誌』の中で、前代より「官庫」に収められていたC類絵図の原図を実見したこと、それは古い時代の古物を好んだ府内藩主日根野吉明(在職：1634－1656)が古老に命じて描かせ、お抱え絵師の前田等修に清書させたものであるとの見解を述べている。この淡斎の記述によれば、C類絵図の原図は、日根野吉明の命によって描かれ、以来府内藩に保管されていた絵図と考えられる。

現在、このC類絵図の原図は所在が確認できておらず、その模写図にあたる①大分市歴史資料館本(館を「大友御屋敷」と記す、立川輝信旧蔵)、②昭和15年高山英明氏写図(館を「大友御屋敷」

と記す、元図渡辺瀧右衛門蔵、現在所在不明)、③昭和9年『史蹟名勝天然記念物調査報告書12』の所載写真(館を「大友役所」と記す)、④大正4年『大分市史』所載図(館を「大友役所」と記す、元図那賀進治蔵、昭和27年以前に焼失)の4点を確認できるのみである。

本図は、その描写や内容等から上記④図に相当すると判断され、④図の元図が焼失した現在において、その系統の模写図として大変貴重なものである。特にこのC類④図では、C類①図や②図で下市町にあるとされている「光西寺」(真宗寺院)が、「今在家町」より北の「下河原」沿いの場所に位置づけられており、戦国時代の光西寺の歴史や府内まちの有様を考える上でも興味深い内容を有している。

1 職人尽し(模本) リスト

	職人(右)	職人(左)	番号	備考
1面	白拍子	曲舞々	48番	下巻
2面	田楽	猿楽	50番	下巻
3面	禰宜	巫女	62番	下巻
4面	山伏	持者	61番	下巻
5面	楽人	舞人	70番	下巻
6面	番匠	鍛冶	1番	上巻
7面	包丁師	調菜	57番	下巻
8面	油売	餅売	7番	上巻
9面	白布売	直垂売	58番	下巻
10面	研	—	3番	上巻
11面	塗師	—	3番	上巻
12面	山人	—	11番	上巻
13面	浦人	—	11番	上巻
14面	檜物師	—	5番	上巻
15面	壁塗	檜皮葺	2番	上巻
16面	車作	—	5番	上巻
17面	傘張	足駄作	22番	上巻
18面	金掘	汞掘	56番	下巻
19面	放下	鉢扣	49番	下巻
20面	薫物売	菓売	60番	下巻

21面	墓目くり	行膝造	55番	下巻
22面	鎧細工	轆轤師	20番	上巻
23面	草履作	硫黄箒売	21番	上巻
24面	弓作	—	16番	上巻
25面	翠簾屋	唐紙師	23番	上巻
26面	摺師	畳紙売	52番	下巻
27面	挽入売	土器作	17番	上巻
28面	鍋売	酒作	6番	上巻
29面	念仏宗	法花宗	65番	下巻
30面	華厳宗	俱舍宗	69番	下巻
31面	筆結	筵打	8番	上巻
32面	縫物師	組師	51番	下巻
33面	紙漉	—	19番	上巻
34面	酢造	心太売	71番	下巻
35面	饅頭売	法論味噌売	18番	上巻
36面	矢細工	箆細工	54番	下巻
37面	競馬組	相撲取	63番	下巻
38面	連歌師	—	66番	下巻
39面	山法師	奈良法師	68番	下巻
40面	帯売	白物売	14番	上巻
41面	早歌うたい	賽摺	66・19番	上巻
42面	魚売	蛤売	15番	上巻
43面	烏帽子折	扇売	13番	上巻
44面	木樵	草かり	12番	上巻
45面	炭焼	小原女	9番	上巻
46面	馬買	皮買	10番	上巻
47面	苧売	綿売	59番	下巻
48面	禅宗	律家	64番	下巻
49面	文者	弓取	47番	下巻
50面	葛籠造	皮籠造	53番	下巻
51面	比丘尼	尼僧	67番	下巻
52面	紺搔	—	4番	上巻
53面	機織	—	4番	上巻

備考は東京国立博物館所蔵の『七十一人職人歌合絵巻』の収録巻



1面



表紙



3面



2面



5面



4面



7面



6面



9面



8面



11面



10面



13面



12面



15面



14面



17 面



16 面



29 面



28 面



19 面



18 面



31 面



30 面



21 面



20 面



33 面



32 面



23 面



22 面



35 面



34 面



25 面



24 面



37 面



36 面



27 面



26 面





41 面



40 面



49 面



48 面



43 面



42 面



51 面



50 面



45 面



44 面



53 面



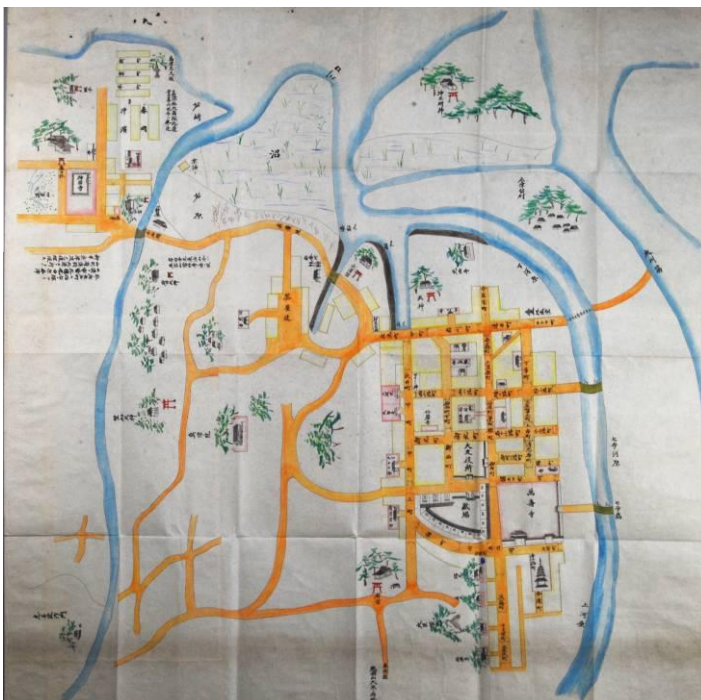
52 面



47 面



46 面



2 豊後国大友時代末期府内絵図

教 育 普 及 活 動

ふるさとの歴史再発見

高校生以上を対象に、歴史、考古、民俗・文化史、古文書の4コースの講座を下記の日程で開講。

定員：70名 / 受講料：各コース300円 / 時間：14時～15時30分

(1) 考古のコース 期間 4月～6月 各指定の土曜日 受講申込者数(63人)受講者総数(279人)

実施日	内容	講師	受講者
4月13日	指定文化財から見た大分市の歴史(考古資料編)	中西武尚(当館職員)	51人
20日	旧光西寺境内の発掘調査(近世府内城・城下町跡第22次)	松浦憲治(当館職員・埋蔵文化財保存活用センター)	47人
5月11日	南蛮都市豊後府内の100回目の調査	塩地潤一(当館職員・埋蔵文化財保存活用センター)	43人
25日	宗麟・義統の戦国都市発掘(寺小路町の調査)	長直信(当館職員・埋蔵文化財保存活用センター)	44人
6月1日	杵築市内の遺跡(最近話題のものから)	吉田和彦氏(杵築市教育委員会生涯学習課)	48人
22日	大友館跡第28次調査(3度目の庭園調査)	佐藤道文(当館職員・埋蔵文化財保存活用センター)	46人

(2) 歴史のコース 期間 7月～9月 各指定の土曜日 受講申込者数(72人)受講者総数(236人)

実施日	内容	講師	受講者
7月13日	府内城築城と天守について	福永素久(当館職員)	60人
27日	『怪談牡丹灯籠』と三遊亭圓朝	櫻井成昭氏(大分県立歴史博物館主任)	48人
8月3日	大友氏と天下人	武富雅宣(当館館長)	40人
24日	山内流と臼杵藩	岡村一幸氏(臼杵市教育委員会主査)	44人
9月28日	江戸時代の宇佐と耶馬溪を歩く	大津祐司氏(大分県先哲史料館主幹)	44人

(3) 民俗・文化史のコース 期間 11月～1月 各指定の土曜日 受講申込者数(54人)受講者総数(167人)

実施日	内容	講師	受講者
11月16日	大分市お祭コレクション(市内祭礼行事集成から)	古瀬美鈴(当館職員)	38人
12月14日	太平洋戦争と大分	板井貴裕(当館職員)	46人
1月18日	神か、人か、妖怪か？(妖怪から垣間見る日本人の靈魂)	藤坂彰子(当館職員)	39人
1月25日	九州の盆行事(長崎県を中心に)	一瀬勇士(当館職員)	44人

(4) 古文書のコース 期間 2月～3月 各指定の土曜日 受講申込者数(77人)受講者総数(311人)

実施日	内容	講師	受講者
2月8日	生石村庄屋「生石子家文書」	武富雅宣(当館職員)	69人
22日	〃	福永素久(当館職員)	64人
3月8日	〃	武富雅宣(当館職員)	55人
15日	〃	福永素久(当館職員)	60人
29日	〃	福永素久(当館職員)	63人

ふるさとの歴史再発見受講者総数 993人

学校・団体の利用

大分市内の小中学校を中心に子ども会やPTA、家庭教育学級、児童育成クラブなどさまざまな団体による体験活動の利用があった。

☆移動講座(移動歴史教室)

歴史体験学習をより多くの学校、団体に活用してもらうために、依頼のあった学校や公民館へ出かけて体験学習を実施した。

〈学校・団体体験活動利用数〉

	利用団体数				利用者数				合計
					資料館		移動講座		
	学校	団体	移動	合計	児童・生徒	大人	児童・生徒	大人	
4月	4	2	1	7	1,905	172	70	40	2,187
5月	4	8	4	16	771	691	392	31	1,885
6月	2	4	11	17	239	179	581	320	1,319
7月	6	6	9	21	524	206	395	202	1,327
8月	2	6	9	17	280	213	368	204	1,065
9月	22	2	2	26	930	185	173	47	1,335
10月	24	1	9	34	1,660	186	1,075	249	3,170
11月	26	4	7	37	3,315	741	453	307	4,816
12月	2	0	3	5	36	31	70	94	231
1月	8	1	3	12	515	115	82	48	760
2月	8	2	3	13	570	121	73	8	772
3月	3	3	4	10	155	130	109	115	509
計	111	39	65	215	10,900	2,970	3,841	1,665	19,376

ふれあい歴史体験講座

親子や一般市民を対象に、下記の歴史体験講座を実施。

時間：午前9時30分～／午後2時～

回	実施日(土曜日)		内容	参加者数		
				子ども	大人	計
1	4/27	午前・午後	粘土はにわ作り	27	20	47
2	5/18	午前・午後	土笛作り	25	17	42
3	6/ 8	午前・午後	勾玉作り	77	55	132
4	6/15	午前・午後	土偶作り	25	17	42
5	7/ 6	午前・午後	七夕作り	19	14	33
6	8/ 3	午後	土面作り	16	11	27
7	8/17	午前・午後	粘土はにわ作り	76	52	128
8	8/31	午前・午後	土偶作り	28	19	47
9	9/14	午前・午後	カゴ編み	17	26	43
10	9/21	午前・午後	勾玉作り	58	38	96
11	10/12	午前・午後	管玉・丸玉作り	20	16	36
12	12/ 7	午前・午後	土の鈴作り	16	10	26
13	12/21	午前・午後	和風作り	17	15	32
14	1/11	午前・午後	カゴ編み	17	40	57
15	2/ 1	午前・午後	勾玉作り	34	27	61
16	2/15	午前・午後	粘土はにわ作り	16	14	30
17	3/ 1	午前・午後	管玉・丸玉作り	29	25	54
18	3/22	午前・午後	勾玉作り	36	31	67
合 計				553	447	1,000

体験講座	材料費
勾玉作り	200 円
粘土はにわ作り	210 円
土笛作り	50 円
管玉・丸玉作り	260 円
和風作り	200 円
カゴ編み	300 円
土面作り	120 円
土の鈴作り	60 円



土偶作りの様子



七夕飾り作りの様子

昔のおもちゃで遊ぼう！

子どもの日に豊後国分寺跡史跡公園にて、昔ながらの手作りおもちゃで遊んでもらう体験講座を実施した。また大正2年に作られ、東植田村光吉組で使用されていた消防ポンプ「竜吐水」による放水体験も行った。

実施日：5月5日（木） 9時～16時

料 金：無料

内 容：昔のおもちゃ（折り紙飛行機・割箸紙飛行機・竹トンボ・ブーメラン・竹馬・竹カップ・ポカップ・こま・竹弓矢・羽子板・シャボン玉・水鉄砲・竹アーチェリー・わなげ・ゴム鉄砲・切り紙・糸電話・ぬりえ・数珠玉・お手玉・おはじき）、竜吐水

参加者：277人（大人146人／子ども131人）



輪投げに挑戦



家族で竹弓矢を楽しむ



竜吐水の放水体験

勾玉作り教室

夏休みと秋の祝日に、事前申込不要で、随時勾玉

作りを楽しんでもらえる講座を、計4回実施。

受付時間：9時～11時、13時～15時

材 料 費：1セット 200円

回	実施日	参加者数		
		子ども	大人	計
1	7/20(土)	68	49	117
2	7/21(日)	87	57	144
3	11/23(土)	114	100	214
4	11/24(日)	180	141	321
合 計		449	347	796



削り作業の様子



色つけの様子

夏休みジュニア歴史探検

小4～中学生を対象に、館内や史跡公園をクイズを解きながら巡る歴史探検やオリジナル勾玉作りなどを実施。

実施日：8月1日（木）9時30分～16時

内 容：勾玉作り・歴史クイズ・館内見学など

実施日	参加者数		
	子ども	参 観	計
8/4(木)	19	10	29



収蔵庫の見学風景

職場体験学習の受け入れ

小 6～中学生を対象に、資料館職員の仕事を体験。

	学校数	受け入れ日数	のべ人数
中学校	6 校	15 日	69
小学校	1 校	1 日	7
合 計	9 校	17 日	76



展示作業の補助



小学生体験活動の補助



体験講座の準備



七夕飾りの取り付け

歴史教育研修

夏休み・冬休み期間に、小・中学校教諭を対象に、資料館の体験活動や郷土の歴史について研修を開催。

時 間：9 時～12 時

実施日	内 容	参加者
8/ 7(水)	資料館の体験活動	11
8/22(木)	大友宗麟を扱った授業	17
8/23(金)	市内指定文化財の見学	11
12/26(木)	高崎山での現地学習	17
	合 計	56



高崎山での山城学習

博物館実習

実習生 2 名を受け入れて、下記の日程・内容で実施した。

実施日	内 容	担当
7/30	ガイダンス/体験学習講習 等	武富・中西
7/31	資料の保存・管理 等	福永・中西
8/1	ジュニア歴史探検実習 等	志賀・細井
8/2	展示の企画・教育普及活動	細井・小野
8/3	ふれあい歴史体験講座実習 等	古瀬・中西
8/4	民俗調査の整理・取扱い 等	細井
8/5	企画展示実習/レポート作成	細井・中西

展示解説講座

テーマ展示及び特別展の展示品や内容をスライド等で解説する講座を実施。

時 間：14 時～ 料 金：無料

実施日	内 容	参加者
5/12(日)	テーマ展示Ⅰ解説	55
8/18(日)	テーマ展示Ⅱ解説	25
11/ 3(日)	特別展解説	36
1/26(日)	テーマ展示Ⅲ解説	12
	合 計	128

ビデオライブラリー

一般入館者への視聴サービスとして、館蔵ビデオの上映サービスを実施。

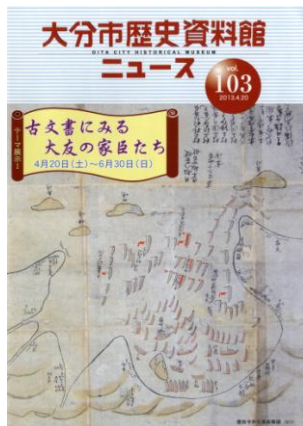
時 間：随時 料 金：無料

月	視聴者数		
	子ども	大人	合計
4 月	27	119	146
5 月	0	89	89
6 月	25	119	144
7 月	239	234	473
8 月	0	85	85
9 月	0	44	44
10 月	0	0	0
11 月	295	404	699
12 月	0	47	47
1 月	0	96	96
2 月	16	168	184
3 月	0	178	178
合 計	602	1,583	2,185

刊行物

名 称	規格	頁数	部数
歴史資料館ニュース 103 号	A4	4	6,500
〃 104 号	A4	4	6,500
〃 105 号	A4	4	6,500
第 32 回特別展図録	A4	40	1,000

※年報はホームページにて掲載



資料の利用・貸出

(1) 資料の利用提供

件 名	件数
熟覧・写真撮影	72 件
テレビ撮影・雑誌等の取材	11 件
印刷物掲載・写真貸与	28 件

(2) 資料の貸出

団 体 名	展示会名	点数
大分市教育委員会 文化財課	「大分市の石橋」	13 点
大分県立歴史博物館	「きらめくアク セサリー」	1 点
村上水軍博物館	「秘伝！能島流 海賊法」	1 点
大分市立中島小学校	授業の教材として 利用	4 点

広報事業

平成 25 年度は、以下の施設等に、総合案内・歴史資料館ニュースの配布・掲示の P R 活動を実施。

学 校	小・中学校	89 校
	高等学校、大学	75 校
行 政	市役所関係	88 カ所
	県庁関係	4 カ所
	県内自治体	48 カ所
	県外博物館	157 カ所
博 物 館	県内博物館	15 カ所
	県外埋文等	111 カ所
	賀来地区自治会 (毎月)	21 地区
そ の 他	市政記者クラブ (随時)	21 社
	県内マスコミ	18 社
	交通機関・一般施設等	54 カ所

市民学芸員の活動

市民や地域にとってより身近な資料館をめざし、24 年度より「市民学芸員」を募集した。25 年度は、31 人が登録し、古文書の解説と整理を行う「資料グループ」、来館者への展示解説を行う「解説グループ」、体験活動の指導を行う「体験グループ」の 3 つに分け、のべ 136 回にわたって活動した。

歴史資料館利用状況

月別観覧者数

単位：人

年 ／ 月	開 館 日 数	観覧者数						講座室利用者数								合 計	総来 合館 計者		
		一般			団体			合 計	一般	資料館講座				映画会					
		大人	中学生	小学生	大人	高校生	中学生			小学生	歴史講座 解説講座	資料館 主催 体験講座	学校等 体験教室	大人	小中学生				
25/4	25	329	1	3	69	105	721	1	352	1,581	54	0	98	47	2,140	119	27	2,485	4,066
5	27	346	1	4	28	331	0	14	1,165	1,889	64	0	142	319	1,566	89	0	2,180	4,069
6	26	365	0	1	37	192	0	3	259	857	140	0	94	174	1,145	119	25	1,697	2,554
7	26	332	0	10	58	223	0	25	639	1,287	157	0	108	294	1,033	234	239	2,065	3,352
8	27	334	6	16	113	222	0	0	329	1,020	119	0	109	226	839	85	0	1,378	2,398
9	25	370	4	6	56	268	0	69	1,440	2,213	230	5	44	139	1,196	44	0	1,658	3,871
10	24	344	0	5	48	359	0	0	2,416	3,172	117	0	0	36	3,134	0	0	3,287	6,459
11	24	791	0	3	58	882	0	1	4,382	6,117	96	0	159	535	4,281	404	295	5,770	11,887
12	23	156	1	3	31	37	0	0	39	267	60	0	46	58	173	47	0	384	651
26/1	23	245	3	1	72	150	0	0	761	1,232	63	0	95	57	703	96	0	1,014	2,246
2	23	307	3	1	59	124	0	2	615	1,111	94	0	133	93	679	168	16	1,183	2,294
3	26	413	10	22	114	121	1	0	149	830	114	2	178	122	387	178	0	981	1,811
合計	299	4,332	29	75	743	3,014	722	115	12,546	21,576	1,308	7	1,206	2,100	17,276	1,583	602	24,082	45,658

管 理 及 び 運 営

1. 歴史資料館協議会

第1回 開催日 平成25年8月8日(木)

会場 大分市歴史資料館 会議室

- (1) 委嘱状・辞令の交付
- (2) 委員・職員紹介
- (3) 議事
 - ①平成24年度事業報告
 - ②平成25年度事業計画及び経過報告
 - ③その他

第2回 開催日 平成26年2月25日(火)

会場 大分市歴史資料館 会議室

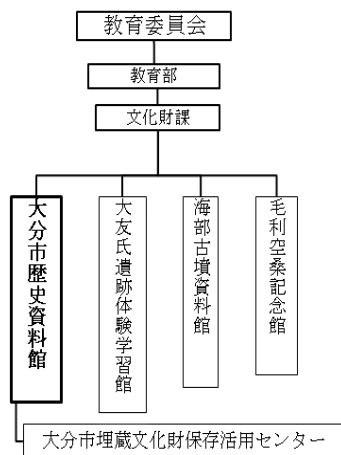
- (1) 議事
 - ①平成25年度事業報告
 - ②平成26年度事業計画(案)
 - ③その他

協議会委員名簿

氏 名	役 職	備 考
橋 昌信	別府大学教授	学識経験者
豊田 寛三	別府大学学長	〃
河野 光	大分県立歴史博物館長	〃
渋谷 忠章	元大分県立歴史博物館長	〃
三ヶ尻友子	大分市PTA連合会 女性副会長部員	社会教育 関係者
三浦 祥子	元社会教育委員 NPO法人支援事業 選考審査委員会委員	〃
安部 俊児	大分市小学校 校長会代表	学校教育 関係者
洲野 暢浩	大分市中学校 校長会代表	〃

2. 組織機構・分掌事務・職員・歳入歳出

(1) 組織機構



(2) 分掌事務

- ①資料館の施設及び設備の維持管理並びに使用に関すること。
- ②歴史資料、考古資料、民俗資料等(以下「歴史資料等」という。)の収集、保管及び展示に関すること。
- ③常設展示及び特別展示の企画及び実施に関すること。
- ④歴史資料等に関する専門的及び技術的な調査研究を行うこと。
- ⑤歴史、考古、民俗等(以下「歴史等」という。)についての講演会、講習会、研究会、映写会等の開催に関すること。
- ⑥学校、図書館、公民館等の諸施設に対する歴史等についての協力及び活動の援助に関すること。
- ⑦歴史資料等についての案内書、解説書、目録、図録、年報、調査研究の報告書等の刊行に関すること。

(3) 職員

(平成26年3月31日現在)

職 名	氏 名	職 名	氏 名
館 長	武富 雅宣	嘱 託	合澤 昭子
グループリーダー	小野 富広	嘱 託	神志那 潔
主 査	秋吉えつ子	嘱 託	御手洗純男
主 査	吉野 晃司	嘱 託	古瀬 美鈴
専門員	中西 武尚	嘱 託	細井 雅希
指導主事	志賀 良史	嘱 託	一瀬 勇士
事務員	板井 貴裕	嘱 託	藤坂 彰子
嘱託(顧問)	讃岐 和夫	属 託	福永 素久
嘱 託	岩尾 良美	臨時職員	渡邊まなみ

(4) 歳入歳出 (H25 実績)

単位: 千円

歳 入		歳 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
観覧料・	557	管理運営費	33,277
講座室使用料		企画展費	7,842
歴史講座受講料	75	資料購入費	871
図録売払代金	259		
雑収入	1		
雇用保険徴収金	7		
計	899	計	41,990

3. 施設管理業務の内容

(1) 施設管理業務の一部委託

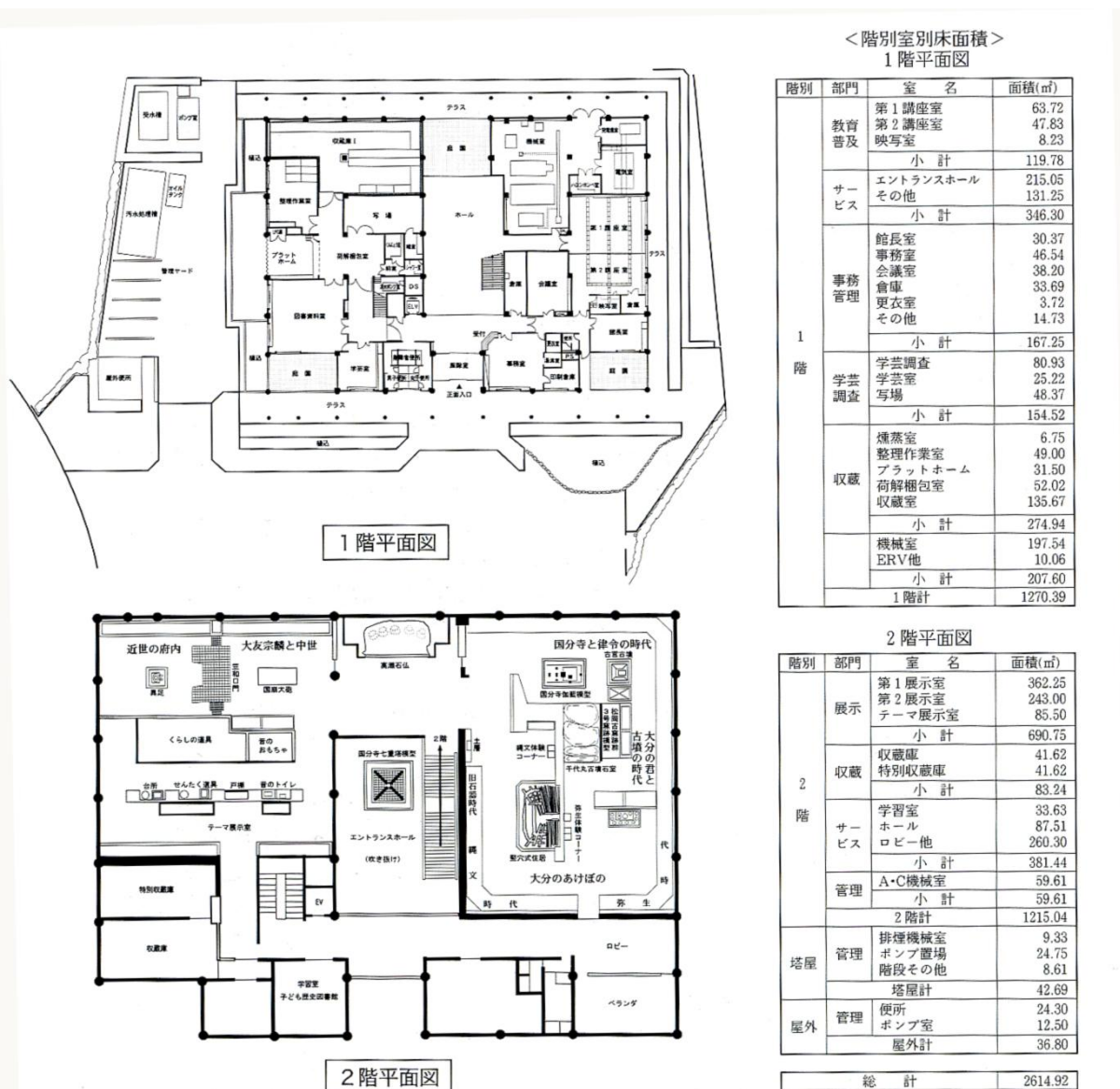
- ①警備……………総合警備保障㈱
- ②清掃(館内及び受水槽・高架水槽)
……………(有)日本ビルサービス
(館外)……………(有)協和環境
- ③電気工作物保管理
……………日本電気保安㈱
- ④空調設備(冷暖房)保守点検整備
……………日本暖房鉄工㈱
- ⑤消防設備点検……………新日本消防設備㈱
- ⑥エレベーター保守点検
……………フジテック㈱西日本支社九州支店
- ⑦自動ドア保守点検……………大分ナブコ㈱
- ⑧浄化槽維持管理……………和宏㈱
- ⑨地下灯油タンク等漏洩検査
……………(有)二豊サービス

- ⑩モニターカメラ設備保守点検
……………J & K ビジネスソリューション㈱
- ⑪ボイラー保守点検……………日本暖房鉄工㈱
- ⑫展示資料及び収蔵庫燻蒸
……………(株)大分イカリテクノス
- ⑬燻蒸設備保守点検……………(有)環境技研
- ⑭歴史資料館緑地帯及び
豊後国分寺跡史跡公園管理
……………(株)広瀬造園

(2) 消防訓練の実施平成 25 年 7 月 24 日(水)

入館者を安全かつ迅速に避難誘導するとともに、初期消火活動の技術の向上をはかり、併せて職員の防火意識の高揚をはかる目的で実施した。参加人員 17 名

施 設 の 概 要



利 用 案 内

開館時間 9 時～17 時

(入館は 16 時 30 分まで)

休 館 日 毎週月曜日(祝日の場合は開館)
ただし、毎月第 1 月曜日は開館し、
翌火曜日が休館(祝日は開館)
祝日の翌日

(土・日曜日の場合は開館)

年末年始(12 月 28 日～1 月 4 日)

観 覧 料 大 人 200 円(団体 150 円)

高校生 100 円(団体 50 円)

中学生以下は無料

*団体は 20 名以上

*特別展開催中は、別料金となる
場合があります。

交通機関 JR 久大本線

◎豊後国分駅下車:徒歩 2 分

大分バス[国分新町行き]

◎歴史資料館入口下車:徒歩 5 分
大分自動車道

◎大分 I.C・光吉 I.C よりともに
約 15 分



大分市歴史資料館年報

2014

発行日 平成 26 年 7 月 30 日

編集・発行 大分市歴史資料館

〒870-0864 大分市大字国分 960 番地の 1

TEL(097)549-0880 FAX(097)549-5766